



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

備えあれば憂いなし

～シェイクアウト訓練&不審者侵入、対応訓練～

先週は、非常時を想定した 2 つの訓練を実施しました。

1 つは、「一関市シェイクアウト訓練」です。シェイクアウト訓練とは、2008 年にアメリカで始まった地震防災訓練で、その場で DROP！

（まず低く）、COVER！（頭を守り）、HOLD ON！（動かない）という安全を確保する 3 つの行動を取る訓練です。



一関市では 2008 年に発生した岩手・宮城内陸地震の教訓を風化させず、市民の防災力の向上を図ることを目的に、岩手・宮城内陸地震が発生した 6 月 14 日、午前 8 時 43 分に実施しており、一関小学校の子どもたちもこの訓練に参加しました。8 時 43 分、FM あすもから流れる、「訓練、訓練、地震発生！」という告知放送を合図に、一斉に 1 分間の安全確保行動を取りました。教室の子どもたちは一斉に机の下に隠れ、机の脚をしっかりと握って揺れが収まるのを待ちました。素早い安全確保行動でした。

一関市では、昨年の 3 月にも大きな地震がありました。地震のゆれ自体でけがをすることは滅多にありません。地震による死傷例の大半は、家屋の倒壊や家具の転倒、ガラスの破片や落下物が原因です。各ご家庭におかれましても「周囲の落下危険の確認、家具等の転倒防止災害時の集合、避難場所の確認」を実施する等、安全確保について、よろしくお願いします。



非常時を想定したもう 1 つの訓練は、16 日に実施した「不審者侵入を想定した訓練」です。学校へ不審者が侵入した事件については全国ニュースで時々耳にします。一関小学校では、来校者については、職員玄関で職員が確認し、名札を着用していただいております。また、児童の活動に支障のない範囲内での施錠もしておりますが、すべての入り口を常時施錠することが困難な校舎の造りになっていきます。一関小学校では万が一不審者が侵入した際には、緊急校内放送により、暗号文で不審者侵入を児童に知らせることにしています。児童はその放送を聞いて教室待機の場合は、机などでバリエードを作るなどして待機します。16 日は、一関警察署の方々に来校いただき、職員も、不審者を職員玄関付近で確認した後の校舎の施錠、警察への通報、校内放送等の一連の流れを確認しました。



その後体育館では 1 年生対象に、不審者対応の防犯教室を開きました。緊急時には、自分の命は自分で守ることが求められます。

「備えあれば憂いなし」です。今後とも、緊急時の行動について、児童と一緒に考えていきたいと思います。

